

豊田民報

日本共産党豊田市委員会
◆豊田市日之出町一・六・六
Tel:三三・四七二
毎週一回発行

6月議会 根本みはる市議の一般質問その② にぎわい創出とメグリアの閉店

第3期中心市街地活性化基本計画においては、令和4年度までの間「市街地の整備改善」「都市施設の整備活用」「まちなか居住の推進」「商業の活性化」「アクセス性・回遊性の向上」の5つの施策群を設定し、主要事業として「まちなかにぎわいの創出」では、新豊田駅東口駅前広場整備事業、商店街にぎわい創出支援事業、まちなかにぎわい・回遊性向上事業などを推進してきました。また、「公民連携による活性化」では、エ

リアマネジメント推進組織によるまちづくり及びプロモーション事業などにより、中心市街地の活性化を図ってきたとしています。

Q第3期中心市街地活性化基本計画の検証を踏まえ、第4期基本計画の課題

A第3期中心市街地活性化基本計画では、昼間のにぎわいづくりと都市機能を生かした「にぎわいの創出」と「公民連携によるまちづくり」をすすめる一方で、居住、商業、エリアマネジメント、都市機能、産学官連携の分野で解決にならない課題が残る結果となった。

そのため、第4期中心市街地活性化基本計画では、最寄品等の拡充による商業機能の充実や、商業機能の充実では、大型商業施設の売り上げ高の減少や「テナントミックス推

進事業」に基づいた、新規テナントや不足業種の誘致に課題を抱えている。

根本市議「ギャザビル内で長らく営業していたメグリアセントレが「6月末をもって閉店」となります。駅の近くで、食料品、日用品の買い物ができなくなると心配の声があがっています。」

Qメグリアセントレの閉店による影響と対応、計画への反映

Aメグリアセントレについては、GAZA 専門店街とともに、地域住民の暮らしをささえており、閉店に伴い、利便性の低下や駅前の魅力の減少などの影響が考えられる。

現在、新たなテナント誘致に向けて取り組んでいると聞いていますが、中心市街地の商業施設がひとつの商業モデルとして機能するためには、各施設の役割を果たすことが重要であると認識しており、第4期基本計画に位置付けた、テナントミックス推進事業を進めていく。

根本市議は「メグリアの閉店を受けて、商店街、地域住民の方々を含め、どうやって暮らしを支えていくか、コミュニティを維持していくか、さ

まざま試行錯誤されている。都心において、商業機能を充実させ、ネットで買えない物ができない方、買い物難民とならないための方策が、早急に求められる」と意見をのべました。

Q市街地再開発事業の検証

A豊田市における市街地再開発事業については、第4期豊田市中心市街地活性化基本計画の策定における第3期（豊田市中心市街地活性化基本）計画の検証の中で、関連地形と合わせて検証を行っており、令和5年4月に公表している。

結論としては、市街地再開発事業により、中心市街地の居住人口が増加し、また、多目的広場の整備と、公民連携によるイベント開催などによる来場者数の増加など、まちの賑わいづくりに一定の効果が見られた一方で、商業においては、店舗数など、活性化事業による効果波及が十分であったとは言えない結果となったとされている。

Q豊田市駅東口駅前広場整備、広場周辺のバス停の設置の取組には、どのように検証結果が反映されるか

A交通結節機能の強化や日

常に「にぎわう公共空間の創出につながる。東口駅前広場は、都心環境計画に基づき、整備を進めていく。

豊田市駅東口のバス停設置については、（令和5年12月定例会での答弁のとおり）バス利用者のニーズや令和4年に実施した交通実証実験におけるバス停の利用状況等を踏まえた対応として、東口駅前広場周辺にバス停を設置する方針。

Q都心環境計画を見直す考えは

根本市議「都心環境計画に基づく事業で、現在、計画段階である事業は、市民の理解が得られる住民参加のシステムと情報公開が必要と考えます。都心環境計画は、変化の激しい昨今の状況を踏まえ、住民参加で検討し、状況に応じた見直しの考えは」

A都心環境計画は、豊田市中心市街地活性化基本計画を下支えする取り組みとして一定の評価が得られていることから見直しの予定はない。

根本市議は「にぎわう公共空間の創出に、幅広い市民の理解が必要」との考えを述べました。



あなたの思い聞かせてアンケート
学費を半額に！最賃1500円に！



6月13日(木)午後4時半から地域の支部・後援会が最寄り駅前で「あなたの思い聞かせてアンケート」「校則アンケート」(2回目)に取り組みました。朝の登校時とは違うにこやかな表情で高校生が近づいてきて、シールを貼ろうと並んで列もできました。しもおく奈歩県議の活動を紹介する校則ビラも70人ほどが受け取り、「僕がみんなに渡します」と言って持っていく高校生もいました。107人の高校生がアンケートに応じたのは、初めてのことです。学費政策では「学費半額」に45人が貼り「政治にやっ



て欲しいこと」では、「最低賃金1500円」が13人。「消費税減税」「差別なく」と続きます。校則問題でも、対話ができました。「裏金問題をスクープした『しんぶん赤旗』です」と言って宣伝紙を渡すと、足りなくなるほど乗降客が次々と受け取っていました。暑さも忘れて元気の出る行動となりました。

19日 行動

またも米兵が少女に暴行

隠ぺいした政府に 怒り爆発！米軍基地はいらない！

7月19日(金)

午後6時～6時30分

7月から時間を変更します

豊田市駅マック横広場

主催:9条改憲 NO!豊田市民アクション

第39回 国保問題学習交流会

国保の納税通知書 届きましたか

国保税納税通知書の見方
国保税減免申請の種類と仕方
最新のマイナ保険証問題

7月21日(日)10:00

豊田市福祉センター 42会議室

どなたでも参加できます

主催：豊田市国保制度の改善を求める連絡会
呼びかけ団体：とよた年金者組合、新日本婦人の会豊田支部
岡崎民商

- ◆法律相談は弁護士が
7月は第2土曜日
午前10時～12時で
- ◆生活相談は随時、根本議員が対応
- ◆法律相談は要予約。お申し込みは
日本共産党西三地区委員会まで
電話 0564-23-2785
- ◆生活相談は根本議員まで
電話 0565-34-4772



根本みはる
豊田市議員



もとむら伸子
衆議院議員



すやま初美
党中央委員

無料 法律・生活相談
おこなっています